

活力ある農山漁村の構築 【10,220(8,733)百万円】

(農山漁村の共生・対流、都市農業の推進等)

対策のポイント

- 「都市農村共生・対流総合対策交付金」、「農山漁村活性化プロジェクト支援交付金」及び「『農』のある暮らしづくり交付金」を活用し、重点対策として4つの各省連携プロジェクトを実施し、福祉・教育・観光・まちづくり等と連携した都市と農山漁村の共生・対流等を推進。
- 農村が有する美しい農村景観や資源の保全・復元を図り、次世代に継承する取組を推進。
- これらの取組により、地域資源を活用して新たな需要を発掘し、活力ある農山漁村を構築。

【事業別予算】

◆ 都市農村共生・対流総合対策交付金	2,100百万円	(1,950百万円)	107.7%
◆ 『農』のある暮らしづくり交付金	580百万円	(550百万円)	105.5%
◆ 農山漁村活性化プロジェクト支援交付金	6,540百万円	(6,233百万円)	105.0%
◆ 美しい農村再生支援事業	1,000百万円	()	皆増

【各省連携プロジェクト】

【9,220(8,733)百万円】の内数

子ども農山漁村交流プロジェクト

○文科省、総務省と連携して、小学5年生を中心に農山漁村での宿泊による自然体験や農林漁業体験等を推進。



「農」と福祉の連携プロジェクト

○厚労省と連携して、高齢者や障害者のための福祉農園について、その拡大・定着が図られるよう支援。



空き家・廃校活用交流プロジェクト

○総務省、国交省、文科省、厚労省等と連携して、農山漁村の空き家・廃校等の地域資源を多機能な施設等として活用。また、田舎暮らし希望者の受入れを促進。



「農」を楽しめるまちづくりプロジェクト

○国交省と連携して、日常生活の中で「農」を楽しみたいという都市住民のニーズに応え、交流農園、農産物直売所等の整備を推進。



※ 都市農村共生・対流総合対策交付金、「農」のある暮らしづくり交付金、農山漁村活性化プロジェクト支援交付金の合計

美しい農村再生支援事業

【1,000(－)百万円】

○農村の景観・伝統に着目し、棚田、疏水などの将来に残すべき農村景観・資源の保全・復元等をソフト・ハードの両面から支援。



活力ある農山漁村の構築

(集落・地域コミュニティの活性化)

- ◆ 交流人口の増大
- ◆ 農山漁村の雇用の増大
- ◆ 農林漁業者の所得の増大
- ◆ 交流農園等の拡大

活力ある農山漁村の構築 【10,220(8,733)百万円】 (農山漁村の共生・対流、都市農業の推進等)

都市と農山漁村の共生・対流等に係る4つのプロジェクト

1. 子ども農山漁村交流プロジェクト

対策のポイント

小学5年生を中心とした農山漁村での宿泊による自然体験や農林漁業体験等を推進し、子どもを中心に世代が触れ合う活発な交流を推進

政策目標：これまでの実績を踏まえ、小学生の宿泊体験活動をさらに拡大

<主な内容>

1. 農山漁村における宿泊体験施設等の整備 (ハード)
 - ・子どもを受け入れる農山漁村地域側の宿泊体験施設・教育農園等の充実・整備
2. 農山漁村における受入体制整備等 (ソフト)
 - ・子どもを受け入れる農山漁村地域側の受入体制の整備、農林漁業体験等プログラムの開発、農家民宿の開業、体験に係る人材の活用・育成等を支援

都市農村共生・対流総合対策交付金	2,100(1,950)百万円の内数
農山漁村活性化プロジェクト支援交付金	6,540(6,233)百万円の内数

<各省との連携>

- (1) 総務省：送り手・受入側の地方自治体への特別交付税措置等
- (2) 文部科学省：送り手側（学校）への宿泊体験活動支援等

2. 「農」と福祉の連携プロジェクト

対策のポイント

高齢者・障害者のための福祉農園の全国展開を加速

政策目標：平成30年までに、福祉農園の利用者数を新たに1万人拡大

<主な内容>

1. 福祉農園等の整備 (ハード)
 - ・高齢者の生きがい及び障害者の就労・雇用を目的とする福祉農園等の開設・整備
2. 研修会の開催や人材派遣 (ソフト)
 - ・福祉・農業関係者を対象とした研修会の開催、福祉施設への農業専門家の派遣等を支援

都市農村共生・対流総合対策交付金	2,100(1,950)百万円の内数
「農」のある暮らしづくり交付金	580(550)百万円の内数
農山漁村活性化プロジェクト支援交付金	6,540(6,233)百万円の内数

<各省との連携>

- 厚生労働省：活動の拠点となる福祉施設の整備、農家等と福祉施設の連携を支援

3. 空き家・廃校活用交流プロジェクト

対策のポイント

空き家・廃校等の地域資源を、田舎暮らし希望者の受け皿や多機能な施設等として活用する取組を支援

政策目標：廃校等を活用した定住・交流人口増(平成30年までに80万人)

<主な内容>

1. 廃校等の地域資源の活用 (ハード)
 - ・福祉・教育・観光等との連携により、廃校等の地域資源の活用と散在する既存施設の再編等を組み合わせた多機能な集落拠点強化施設等の整備を支援
 - ・耕作放棄地等を活用した滞在型交流農園や交流施設の整備を支援

[平成26年度予算の概要]

2. 情報発信の強化 (ソフト)

- ・田舎暮らし希望者への農地の掘り起こし・あっせん等や、商店街の空き店舗を利用したアンテナショップを情報発信基地として活用する取組等を支援

(都市農村共生・対流総合対策交付金 2,100(1,950)百万円の内数
農山漁村活性化プロジェクト支援交付金 6,540(6,233)百万円の内数)

<各省との連携>

- (1) 総務省：過疎地域の活性化への取組支援
- (2) 文部科学省：廃校に係る情報提供等
- (3) 国土交通省：集落地域の「小さな拠点」形成のためのプランづくり
既存公共施設を活用したワンストップサービス施設の整備
- (4) 厚生労働省：廃校等を活用した高齢者関係施設、児童福祉施設等の整備
- (5) 経済産業省：商店街空き店舗への店舗誘致等を支援

4. 「農」を楽しめるまちづくりプロジェクト

対策のポイント

都市にあって住民が日常的に「農」のある暮らしを楽しめるよう、円卓会議等での住民参加による計画策定と、交流農園、直売所等の整備を推進

政策目標：平成30年までに、「『農』をたのしめるまちづくり計画(仮称)」を100自治体で策定

<主な内容>

1. 交流農園等の整備 (ハード)
 - ・交流農園、農産物直売所等の整備を支援
 - ・都市機能の集約のために除去された建物跡地での市民農園等の整備を支援
 2. 計画策定支援 (ソフト)
 - ・地方自治体における、円卓会議等での住民参加による計画策定を支援
- (「農」のある暮らしづくり交付金 580(550)百万円の内数)

<各省との連携>

- 国土交通省：生産緑地の買取りによる農業公園の整備を支援
都市機能の集約に伴う郊外部での建物の除去費用を支援

美しい農村再生支援事業

対策のポイント

農村の棚田や疏水等の有する美しい景観や伝統等の総合的な価値を農村の付加価値として新たに蘇らせ、農業・農村の活性化を図る取組を支援

政策目標：年間60地域で取組を実施(平成26年度～29年度)

<主な内容>

日本の棚田百選、疏水百選のうち法律に基づく景観保全等に取り組む地区や国際機関が認定した世界農業遺産を対象に支援。

1. 農村の価値の向上・継承 (ソフト)
 - ・農村の総合的な価値を向上・継承するための活動計画づくり・体制整備等
 - ・地域製品のブランド化等の地域活性化の取組の立ち上げ支援
2. 残したい農村資源の保全・復元 (ハード)
 - ・ソフト支援に合わせて必要となる棚田や疏水等の農村資源の整備を支援

(美しい農村再生支援事業 1,000(一)百万円)

(お問い合わせ先：農村振興局都市農村交流課 (03-3501-3729)
農村振興局中山間地域振興課(03-3501-8359)
農村振興局農村整備官 (03-3501-0814))